たたかえ！
ヒガシヤマン

round21

©大畑栄里

ヒガシヤマンの返し技

今回の敵キャラ

マト漁師か!?

【必殺技】

分身の術と思いきや三体目が漁師というビックリ技。
ビックリしている間に漁師の網に捕らえられてしまうので気をつけろ!

【考案者】 **京極　朋彦**

ダンスユニット「肉体関係」主宰。
2009年8月、東京、こまばアゴラ劇場夏のサミット2009に参加予定

【必殺！！銀蠅】

ヒガシヤマンは枚方の某遊園地で「魅惑のロックンロールショー」に出演している。新しいバイトである。今日は楽屋におかしなものがある。共演の「驚愕！ロシアンマジックショー」の人たちのものだろうか、随分大きなマトリョーシュカだ。気になったので空けてみた。すると、ちゃんともう一体マトリョーシュカが入っている。ずいぶんよくできている。もう一度空けてみると、中で小さいおっさんが寝ている。「……起こしちゃいけないな」ヒガシヤマンは、そっとマトリョーシュカを元の通り戻しておいた。

東山青少年活動センターにひそかに存在するキャラクター・ヒガシヤマン。彼は反省している。「ロックンロールショーなんてヤダな、って毎日荒れてたんだ。でも、あのおじさんもがんばってんだもんな。文句言っちゃいけないよ」働くことの大切さを知った、春の一日であった。
本業はどうした、ヒガシヤマン！

文：筒井加寿子

ヒガシガシ

VOL.21

2009 SPRING

もくじ

01・たたかえ！ヒガシヤマン
02・もくじ
03・Higashiyama Youth
05・ステージサポートプラン
07・【特集】PAC@立誠
10・ボランティア募集
11・東山schedule
13・ワークショップななめ読み

イラスト
こまのさち【昭平劇場】
昭平劇場HP http://showgeki.ehoh.net/

空腹を充たすために食べるスナック菓子のように、
東山の情報もかじってほしい。
ヒガシ（干菓子）のイメージからくる季節感や彩りも
添えて。ヒガシガシは、そんな情報誌です。

Higashiyama Youth

東山センターを利用している青少年にインタビュー

今回お話を伺ったのは、工作室でイベント準備中のボランティアサークル「aile」の河野寛子さんと芦田圭介さん(ともに春から３回生)です。

「aile」は京都の大学生メンバーが集まって活動するボランティアサークル。教育・福祉・環境と活動の種類は３分野に分かれるそうです。

――グループの簡単な紹介をお願いします。

河野：ボランティアサークル「aile(エル)」です。メンバーは40人くらいです。

芦田：もともとは京大で立ち上げられたサークルなのですが、今はインターカレッジサークルとして、さまざまな大学から来た人が集まっています。

――これまでと現在の活動内容は？

河野：エルの活動は教育・福祉・環境の３分野で構成されていて、教育分野では、山科の大宅小学校に行って小学生と交流する「サタデースクール」という活動をしています。これは、エルが主体となってプログラム内容も全部自分たちで考えてます。

芦田：理科実験としてペットボトルロケットを作ったり、最近では「なっちゃんオレンジをつくろう」っていうプログラムで、クエン酸とかいろいろな液体を持ってきて、ジュースを作ったのが面白かったですね。

河野：調理実習もあったり。夏休みには毎年「ふれあいキャンプ」という、１泊２日のお泊まり会をやるんです。芦田：キャンプだけど学校でやるもので、子どもたちも楽しみにしてて。大学生と一緒に過ごすという時点で、すでに普段とは違うんですけど、普段学校でできないようなことして、そこから何か得ることができたらなと思って活動してます。

河野：福祉分野では茨木の養護苑に行って、食事の介助や、若いときに勉強できなかった人たちとの勉強会もしてます。

芦田：東山アートスペースでの創作活動(知的な障がいのある青少年のアトリエ活動サポート)もやっています。

河野：環境分野では、メインとして「シティポリス」という清掃活動をしています。

芦田：みんなとしゃべりながら和気あいあいと、楽しい清掃活動していこうという活動です。

河野：町の人たちにも自分たちが活動していることを発信しながら、あいさつとか、周りの人との交流を心掛けてますね。

――いろんな事が出来るんですね。

河野：分野それぞれに壁があるわけではないから、どの分野でも自由に活動できるんです。

――お二人がこのグループで活動を始めたきっかけは？

河野：私は１回生の秋ごろに入ったんですけど、「大学生だからできること」というＨＰの言葉にひかれて。社会人になったら、また違った目線でちがうことをするかもしれないけれど、「今できること」ということを考えたのがきっかけですね。

芦田：僕は、２回生の５月くらいに入ったのですが、そのころずっと同じリズムの生活が続いていて、物足りない感じがあって、ボランティア活動にも興味があって。インターネットでみて、楽しそうだな、ボランティアしながら和気あいあいとしてるのっていいなと思って。大学生のうちにしかできないことは

たくさんあるし、時間のある今のうちに吸収してやっていこうかなと。

――活動センターを使うのは、主にアートスペースの活動ですか?

芦田:最近では、福祉のイベントを来週に控えてるんで、準備にここを使っています。スタッフさんにアドバイスをもらったりもできますし。

――活動センターの使い心地は?

河野:通いなれてくるとすごい、親しみがわいて…

芦田:アットホームで。ふ〜…みたいな。(笑)

河野:スタッフさんも丁寧で話しやすくて。ロビーにあるチラシとかにも関心があって、そういった情報がたくさんあるのもいいところだなと思います。

――お二人にとって「活動時間」とは?

河野:自分が生き生きしていて、エネルギッシュでいられる場所というか、そんな時間です。

芦田:自分を成長させてくれる場所、みたいな。活動に参加することで生活にメリハリがつけられたり。いろんなものに気づかせられて、吸収できる空間です。思うことはいろいろあるけど、楽しいから活動しているのが大きいですね。

河野:楽しさがないと続かないかな。もちろん自分のためになるから続けてるという点もありますけど。

――グループとして目指しているものや、心がけていることは?

河野:ちょっとくさいけど、スローガンは「誰とでも家族のような温かい関係を築けるように」なんです。それをみんなの心の中においています。誰とでもというのは、プログラムに参加する子どもたちであったり、メンバーさんであったり、

芦田:もちろん仲間であったり。それを思うことで、チームワークが発揮されたり、仲良くもなれますし。一番大きな活動目標ですね。ほかには、オーナーシップっていう、自分から主体的に動くということも心掛けています。

河野:どんどん自分たちが率先して活動していこうっていう姿勢を、大事にしているので。

――今後の活動について、何か予定は?

河野:5月あたりに、新入生歓迎のための体験プログラムを考えています。

芦田:去年はアートスペースの活動でしたね。今年は教育分野で何かできないかなと…。

河野:どの分野でも、新入生が体験できるものを、と思っています。新歓の時じゃないといけないことはないので、いつでも問い合わせてくださいね!

――ありがとうございました。

ボランティアサークル aile(エル)
HP:www.geocities.jp/aile_kyoto/

取材・編集:松崎美里
(京都橘大学文化政策学部3回生)

STAGE SUPPORT PLAN

STAGE SUPPORT PLAN

ステージサポートプラン

4月～6月

東山青少年活動センターが自主公演の支援をします。初心者から経験者まで、色んな人たちに東山にある創造活動室を利用して欲しい。だから次のようなグループの公演を応援しようと思いました。

1. First Trial（活動経験の浅い人たち）
2. チャレンジ！（何か新しいことに挑戦しようという人たち）
3. 東山のおススメ！（京都でがんばって活動している人たち）

★詳しいことのお問い合わせは →東山青少年活動センターへ

http://www.ys-kyoto.org/higashiyama

HPでもご覧頂けます。

応募方法

＊応募には …… まず、担当者にご相談ください。

＊企画書の提出（公演希望日、公演内容やセンターで公演をしてみたい理由を書いてください）

…… 公演しようとする月の4ヶ月前の20日まで

＊個別面談 …… 応募された全てのグループと面談（応募締切日より10日以内）

＊決定 …… 東山青少年活動センタースタッフとボランティアで選考の上、支援公演を行っていただけるグループを決定。（公演しようとする月の4ヶ月前の月の末日）

創活番ボランティア募集中！

「創活番」とはステージサポートプランのお手伝いをするボランティアチームです。
この度、新メンバーを募集しています。
何か新しいことを始めてみたいと思っている方におすすめです。
照明や音響、舞台の知識も身につきます。詳しくはお問合せください！

■The 掘削
「実験4号」

「飲んでりゃ昨日も見えるだろ!」
「明日が行き止まり!」
喫茶店を舞台にした会話劇。
「流したくても流せない!」
劇団員、出演者、スタッフ募集!

4/10（金）18:30
4/11（土）14:00/18:30
4/12（日）13:00
〔前売〕500円 〔当日〕800円
高校生以下500円均一
○お問合せ…090-8405-0413(制作)
the_kussaku@yahoo.co.jp
http://kussaku.web.fc2.com/

■笑の内閣
「真剣２０代しゃべり場」

笑の内閣が挑むのは、知力の勝負ディベート芝居。全４回演劇に関する別なテーマを議論しあう、どこまでが脚本なしでどこまでがヤラセかわからない爆笑ディベートだ。

http://www.geocities.jp/waraino_naikaku/

5/22 (金) 19:00
5/23 (土) 14:00/19:00
5/24 (日) 14:00

〔前売〕1000円〔当日〕1500円
フリーパス料金
〔前売〕1800円〔当日〕2300円

○お問合せ…
waraino_naikaku_u@yahoo.co.jp

※すべての演劇公演の開場は開演時間の30分前です。

■L3
「机上のクローン」

某大学の一室。ノートもとらずに今日も一日机上のお喋り。
このご時世、遊んでないでそろそろ就活してほしい現役大学生たちのおちゃらけ筆談コントオムニバス。

5/29 (金) 18:00
5/30 (土) 14:00/18:00
5/31 (日) 12:30

〔前売・当日共〕500円

○お問合せ… III_cube@yahoo.co.jp
http://lcube.pupu.jp

「ヒガシガシ」デザイン・編集　ボランティアスタッフ募集！

この情報誌を一緒に創りませんか？ 東山青少年活動センターが季刊紙として発行しているフリーペーパーです。
毎号2,000部発行しており、京都の大学や市内7ヶ所の青少年活動センター、カフェ、ギャラリーなどに設置し、
若者への情報発信を行っています。

＊活動内容＊

◎特集やHigashiyama Youthの取材・原稿作成　◎全ページのデザイン・校正作業
◎製本・発送作業など

活動日は内容によって変わります。直接お問合せください。

何か新しいことを始めてみたいと思っている方、イラストを描くのが好きな方、地域に出てものづくりの活動をされている方と出会いたい方、編集・デザインに興味のある方…経験はなくても大丈夫です。
やってみたいと思ったらぜひ東山青少年活動センターまでお問合せください。

TEL 075-541-0619
E-mail fromeast@jade.dti.ne.jp

Performing Arts Communication @立誠

３月末、少し暖かくなったり寒さが戻ったり、高瀬川の桜のつぼみを気にしながら四条木屋町の元立誠小学校で行った「Performing Arts Communication@立誠」。センタープログラムの柱になっている「創造表現活動」と「ボーダレスアート（障がいがあるなしにかかわらず、アートはだれでも取り組める、楽しめる）」をテーマに作品展示と様々なプログラムを実施しました。
今回の特集ではその実施報告を行います。

pickup 1

東山アートスペース作品展示「touch the wave」

昨年度の東山アートスペースメンバー42名の作品展示。元職員室の古い棚の引き出しや、ピアノを展示台として使ったり、大きな布に描かれた作品を踊り場の窓から陽が透けて見えるように展示するなど工夫を凝らし、作品と作者の個性が活きるような展示を行いました。来館者は400名を超え、「とっても素敵な作品で楽しく見ることができた」「エネルギーをもらった」「自分にはないセンスが感じられた」などという感想をもらいました。帰り際にプレゼントした作者のイラスト入りクリアファイルや作品の写真でつくったはがきにも喜んでもらう事ができました。

pickup 2

東山アートスペースイベント「空(くう)に描く」

高さ２ｍの透明の立方体に、絵の具やペンを使って描くプログラム。参加者とスタッフ総勢20名で、中から外から、天井にも絵を描いて仕上げました。透けるキャンバスに向かい合ってコラボする様子も。できあがった大きな作品は会期中中庭に展示し、たくさんの方に見ていただきました。

pickup 3

～公演 + フランスツアー + 上映会～「ダンスと見えないこと」

「五感で感じて欲しい」というパフォーマンス。大雨の中ではありましたが、70名の来場者を迎えて実施しました。公演が始まると、暗い空間でダンサーの声や息づかいが聞こえ、その後、ぼんやりとした灯りの中でそれぞれのダンスが繰り広げられました。途中舞台上で作られたポップコーンは観客に配られ、ポップコーンをほおばりながらパフォーマンスを観る雰囲気でした。ねらい通り、観客と空間とダンサーが一体となってできあがるパフォーマンスになったようでした。休憩を挟み、フランスでの活動報告、続けて、ドキュメンタリー映像が上映されました。活動報告では、これまでのDance & Peopleの活動紹介と、フランスに行くことになった経緯、行ってみて、行く前との変化などが話されました。また、フランスのNPOとのワークショップや交流についても話されました。さらに、パフォーマンスを行った花嵐のメンバーや森川さんが、それぞれの思いや感想などを語りました。ドキュメンタリー映像の上映でも、とてもいきいきした人と人との交流をカラダを使うということを通して見ることができました。人が人とかかわること、そこから生まれる関係性、ダンスの魅力など、色々な角度から考えることができる機会が提供できたと思います。

pickup 4

ママ、ダンサー化計画「なんちゃってアフリカン in 京都」

コートディボアール出身のダンサーをナビゲーターに迎え、集まったママさんや男性、女性、そして小さなお子さんも一緒に楽しめるプログラムでした。ダンサーの動きに合わせて、日頃使わないカラダの色々な部分を動かしながら、とても楽しそうに踊っていました。時には、お子さんを抱っこしながら踊ったり、ママの動きに合わせて歩いたりと、親子のダンス風景も見られました。ペアになって、軽快な音楽に合わせて思いっきり踊る様子は、とってもいきいきとしていました。

pickup 5

ワークショップ「あそびからマイダンス」

ナビゲーターにダンサーの黒子さんを迎えて実施しました。カラダをほぐすことから始め、全員で足や手を使って握手したり、自己紹介のダンスをしたりと、みんなで一緒に楽しむワークを中心に行われました。休憩をはさんで、ペアで創作ダンスを作って、発表しました。ゆるやかに、それぞれのペースに合わせた進行でしたが、最終的にはみんながそれぞれが持つダンス的な要素に出会える場となりました。

pickup 6

ワークショップ「めかくしであそぼう」

午前中は青少年ボランティアを対象に、午後からは市民対象に実施しました。ボランティアも含め9名の参加。元立誠小の3階にある自彊室（60畳くらいの和室）を会場に行いましたが、とても趣のある空間に参加者も始まる前からウロウロ。廊下が回廊になっていて、窓からは少し咲き始めた桜が見えました。穏やかな日があたる部屋で、ゆるやかにワークショップは始まりました。初めて出会う人とアイマスクをつけて、お互いに触れ合ったり、ペアになってポーズをつけたり。1つのワークが終わるたびに、感想を伝えあいました。
日頃は気にしてない、指先や足の感覚を感じながら、日常とは少し違ったカラダの変化に気づいたという声や、五感を使う感じがわかったなどの感想が聞かれました。

pickup 7

「aile×create博」～タカラモノバコ～

大学生のボランティアサークルaileが、講堂をタカラモノバコみたいにウキウキする空間にしようと、魚釣りゲームやブンブンコマづくりコーナーなど遊べるコーナーを用意しました。また、たくさんの方に「福祉」について理解を深めてもらおうとスタッフが作業所で体験した記録をまとめて展示をおこなったり、“ユメザクラ”と題された大きな桜には花びらに小学生やスタッフの夢が描かれ、展示されていました。ふらっと入った親子連れの方が「思わず長居してしまった」と笑顔で話されていました。

●ほかにも、表現活動へのお誘い「からだではなそう」、私のためのカラダの時間、からだの物語をめぐる体験講座「みる・きく・かかわる」などが行われました。

たくさんの方に元立誠小学校を訪れていただき、展示やプログラムを楽しんでもらえたようです。新しい季節の始まりに、作品を観たりワークショップに参加することで、少し五感が研ぎ澄まされたような方も多かったのではないでしょうか？
来てくれたみなさん、協力してくれたみなさん、本当にありがとうございました！

東山青少年活動センターでボランティア活動してみません

＊「創活番ボランティア」

「創活番」とは東山青少年活動センターで行なう演劇やダンスなどの発表・公演（ステージサポートプラン）のお手伝いをするボランティアチームです。
何か新しいことを始めてみたいと思っている方、舞台づくりに関心のある方を求めています。
ボランティア希望の方には、ボランティア養成講座で創造活動室にある照明や音響機材の取り扱い方や、舞台の組み方なども体験していただける機会を設けています。

ボランティア
養成講座の様子

＊「東山アートスペース ボランティア」

活動日は毎月第1・3日曜日11:00～17:30

東山アートスペースは、13歳～30歳の知的な障がいのある人たちの余暇充実を目的としたアトリエ活動です。
ボランティアスタッフのみなさんは障がいのあるメンバーをサポートしながら、作品づくりを一緒に楽しんでください。
センターの趣旨を理解し、アトリエ活動を一緒に楽しんでくださる方を求めています。

活動の様子

ボランティア活動が初めての方も、経験がある方も、新たな分野でのボランティア活動を始めてみませんか？
いずれのボランティア活動も対象は18歳から30歳までの方です。
何かしたいけど、どんな活動がいいのかわからない・迷っているという方もお気軽にお問い合わせください。

東山schedule 2009

	4月		5月			6月	
1	水		金			月	
2	木		土			火	
3	金		日			水	
4	土		月			木	
5	日		火			金	
6	月		水			土	
7	火		木			日	
8	水		金			月	
9	木		土			火	
10	金		日			水	
11	土		月			木	
12	日		火			金	
13	月	①	水			土	③
14	火		木			日	③
15	水		金			月	
16	木		土	②		火	
17	金		日			水	
18	土		月			木	
19	日		火			金	
20	月		水			土	
21	火		木			日	
22	水		金			月	
23	木		土	②		火	
24	金		日			水	
25	土		月			木	④
26	日		火			金	
27	月		水			土	
28	火		木			日	
29	水		金			月	
30	木		土	②		火	
31			日				

は休館日です

1 「ユメザクラ」展

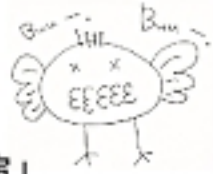
みんなで夢を書いたサクラの木をつくろう!ということで、サークル活動でかかわる子ども達や、先日のイベント「aile×create博」来場者の方々、そしてサークルメンバーがサクラの花びらに夢や目標、やってみたいことを書いて一つのサクラを創りあげました♪
皆の夢がたっぷり詰まったサクラの花が咲いています☆

会　期:4月13日(月)〜5月上旬　センター開館時間内
会　場:京都市東山青少年活動センターロビー
展　示:ボランティアサークルaile

2 東山陶芸ワークショップ①
「碗々セットづくり」

春はいろいろなスタートの季節。新生活の中に自分で作った器を仲間に入れてみませんか?
茶"碗"、汁"碗"、箸まめの 3点セットをつくります!!
形作りをしたり釉薬をかけたりと陶芸初心者も経験者も楽しめる内容です。

日　時:5月16日(土)〜30日(土)
　　毎週土曜日 14:00 − 16:00
参加対象:京都市に在住もしくは在学・在勤されている13歳から30歳までの方
定　員:12名(8人に満たない場合は中止)
参加費:2,500円(材料費込)
ナビゲーター:涌波隆さん
申込受付:4月20日(月)13:00より直接来館・電話・Eメールにて先着順受付。



3 中劇研「春の合同公演」

中劇研（京都市中学校教育研究会演劇部会）は、京都市内の公立・私立中学校演劇部の集まり。参加校が日頃の活動の成果を発表します。
この催しは、「学校と青少年施設の連携」事業として、創活番(青少年ボランティア)の協力で実施します。

日　時：6月13日(土)・14日(日) 予定
　　入場無料
場　所：京都市東山青少年活動センター
　　創造活動室

【1 3 の事業について】
対象：市民
会場：東山青少年活動センター創造活動室

【2 4 の事業について】
対象：京都市に在住もしくは在学・在勤されている13歳から30歳までの方
会場：東山青少年活動センター

各事業の詳細部分に記載されています、申込受付日より、直接来館、または電話・E-mailにて先着順受付。

【3 の事業について】
対象：市民
会場：東山青少年活動センター創造活動室
問合せ：東山青少年活動センターへ

4 演劇ビギナーズユニット2009参加者募集

参加したみなさんで一つの舞台を作ります。
一度舞台に立ってみたかった方。演劇に興味はあったけど、触れる機会がなかった方。新しく何かをはじめたい方、新しく何かをつかみたい方。
ここに、あたらしい舞台があります。
楽しむために来てください！

講座日程：7月2日(木)～10月15日(木) 全38回
　　毎週月・木曜日18：00－21：00
　　*祝日は15：00－18：00
　　（講座日程以外に自主練習をする可能性があります）
　　＊説明会／6月25日(木) 19：00－20：30
　　＊公演日／10月10日(土)・11日(日)・12日(月)
　　＊公演準備日／10月9日(金)
募集期間：5月1日(土)～6月22日(金)
参加対象：京都市に在住か在学・在勤の中学生から30歳までの方で、演劇初心者の方、またはそれに準ずると思われる方。
募集定員：17名（応募多数の場合は抽選、定員に満たなかった場合は、6月22日以降も先着順で受付けます）
参 加 費：30,000円（全38回の講座費用・公演費用一切込）
演　　出：あごうさとし
　　（WANDERING PARTY／劇作家、演出家）
申 込 み：京都市東山青少年活動センターへ直接来館、または電話・E-mailにて受付けます。
公演会場：京都市東山青少年活動センター 創造活動室
共　　催：NPO法人 京都舞台芸術協会

work shop

ワークショップなため読み

●概要

ものづくりワークショップ「気軽にできるメタルクラフト」

今回のワークショップは銅や真鍮・アルミを使って、素材を切ったり、叩いたり、曲げたりしてオリジナルの作品作りにチャレンジしました。参加したみなさんのイメージは時間とともにどんどん膨らんでいき、刻印入りの指輪や2連のネックレス、三角形のピアス、ドア形の携帯ストラップなど、どれもオリジナリティのある作品になりました☆　作った作品をさっそく身につけ、ニコニコして帰っていく方もいました。

［開催日時］2009年3月3日(火)・10日(火)
全2回　18:30～20:30
［参加者］9名
［参加費］2,700円(材料費込)
［ナビゲーター］佐藤 輝典さん(アクセサリー作家)

●1回目の感想

・自分でアクセサリーをつくれるのが新鮮でとても楽しかった。次回までにもう少し構想を練って変わったものをつくりたい。次はネックレスに挑戦してみたい。
・すっっっごい楽しかったです!! 次回はおそろいのピアスを作ります。売っているものを買うのも良いんだけど改めて"つくること"がおもしろくて楽しくてたまらないということを思い出しました。
・真鍮などが、簡単に加工できることに驚きました。次回も楽しみです。
・作りだしたら止まりませんでした。もっと難しいと思っていましたが、手軽に作れるもんだなと思いました。次回はネックレスやストラップをもう一つ作りたいです。
・作ってみたいなぁと思っていたネックレスが完成しました。作業も楽しかったですし、とてもよかったです。

ワークショップを終えて・・・

●ワークショップに参加して良かったこと

・自分で金属を加工して、いろいろ作れることがわかってよかった。
・リーズナブルで参加しやすい。いくつ作ってもＯＫだったのが嬉しい。
・作品を今後使っていけるので。
・自分の欲しいアクセサリーが作れたこと。
・久し振りに没頭できたことが良かったです。
・特技が一つ増えました。

●期待はずれだったこと、残念だったこと

・表面を刻む機械が１つしかなくて、なかなかあたらなかったことくらい。
・自分のデザイン力のなさ…。

●今回のワークショップに点数をつけるなら

平均93.9点

●アクセサリー以外に作ってみたいものを聞いてみると……

・陶芸　トーテムポール　ガラス工芸　金工　木工　ステンドグラス　ろうそく作りなど　いろいろなものがあがりました。

●今回のようなワークショップにまた参加したいですか？

はい(9人)・いいえ(0人)

・楽しいし、一人ではできないことができたので。
・一人でやろうと思ったら道具をそろえるのが大変なのでワークショップでものづくりがいろいろとできると嬉しいです。
・気軽に、いろいろな経験ができるから。
・いろいろなものをつくってみて、ものづくりの自分の可能性をさぐっていきたい。
・ものづくりが好きなので。
・アクセサリーが好きなので。
・特技を増やしたいです。

ヒガシガシ VOL.21 2009 SPRING

●編集・発行　京都市／(財)京都市ユースサービス協会　●表紙デザイン　大畑栄里

(財) 京都市ユースサービス協会とは…

「若い人たちの社会参加の機会を広げ、責任ある若き市民に成長できるよう、そのために必要な自主的な活動を支援していこう」というユースサービスの考え方をもとに、青少年の持つパワーが社会の中で活かされるためのサポートをしています。